

高槻城公園北エリア（一期）整備工事（建築）

特 記 仕 様 書

令和 7 年度

高槻市

第1編 一般事項

1 適用

本特記仕様書は、高槻市 都市創造部 建築課において施工する『高槻城公園北エリア（一期）整備工事（建築）』の特記事項を定めたものである。

2 基本的事項

本工事の施工にあたっては、本特記仕様書によるほか、図面に記載する特記仕様書によるものとする。

3 事前調査・準備等

- （１） 本工事において使用する基準点は、図面に記載する KBM を用いるものとし、高槻市公共基準点と相違がないかを施工前に確認すること。（基準点・水準点については、高槻市が所管しているので、事前に調査し入手すること。）
- （２） 本工事の各段階に必要なとなる官公署その他への各種申請又は届出の種別、手続き、時期等をあらかじめ調査すること。
- （３） 関連工事において公園工事や設備工事等の施工が行われるため、受注者は関連工事の施工範囲や工事工程に配慮して、本工事の施工方法及び工程を検討すること。
- （４） 本工事の現場施工に先立ち、受注者は工事区域内に埋設されている汚水本管や外周道路に埋設されている水道管・ガスパイプ・下水管・電線管等の各施設管理者と事前に施工協議を行うこと。
また、施設管理者から資料提出及び申請手続きが求められる場合は、受注者において資料作成及び申請手続きを行うこと。
- （５） 受注者は各施設管理者に、工事区域及び周辺における最新の埋設位置を確認することとし、その結果を本工事の施工計画に反映させること。
- （６） 本工事に起因する周辺住宅への影響を把握するために家屋調査を実施すること。家屋調査による住宅への立ち入りが必要最小限となるよう、調整を行うこと。

4 関連工事及び周辺工事との調整

- （１） 本工事において発注者・関連工事業者等が参加する定例会議（毎週１回以上）を主催すること。また、公園北エリアにおいて、別途工事の受注業者が主催する定例会議（毎週１回以上）に参加し、連絡調整・情報共有を行うこと。
- （２） 定例会議では、近隣状況の報告、次週の週間工程と工事の進捗状況の報告、受注者からの連絡等を行い、工事の安全で円滑な管理を図ること。
- （３） 安全衛生協議会（月１回）を実施すること。
- （４） 令和８年１月以降、大手エリアカフェにてテナント工事（別途工事）を実施する予定である。
その際には搬入経路等についてテナント工事業者と調整を行うこと。

5 関連工事

(1) 本工事の関連工事として、発注を予定しているものは下記のとおりであり、本工事の施工を検討するにあたっては、各工事が円滑に進むよう密に工事調整を図ること。

- ・高槻城公園北エリア（一期）整備工事（公園）
- ・高槻城公園北エリア（一期）整備工事（機械設備）
- ・高槻城公園北エリア（一期）整備工事（電気設備）
- ・高槻城公園北エリア（一期）整備工事（植栽）

※上記以外の高槻城公園北エリア（一期）整備に関連する工事

(2) 本工事の周辺道路において、電線共同溝事業等に関連する工事が同時期に施工されている。本工事の施工を検討するにあたっては、各工事が円滑に進むよう密に工事調整を図ること。

6 現場事務所及び用地

(1) 本工事エリアに休憩所等を設置する場合、関連工事と調整するとともに、撤去時期や配置等について、十分に発注者と調整し検討すること。

7 工事計画

(1) 工事ルート

- ・関連工事と重複するため、施工に際しては関連工事との連絡調整を密に行うこと。
- ・工事車両の通行する道路は周辺住民の生活道路でもあるため、安全対策には十分留意すること。
また工事ルート及び周辺道路上で車両待機がないように、運転手等に周知徹底すること。
- ・工事車両の運行について、関連工事も含めた台数調整を行うため、関連工事間で調整しながら運行管理を行うこと。
- ・地元調整により、大型車両が場内を通行する際は、必ず 10km/h 以下で走行（徐行）すること。
また国道 171 号北大手交差点から現場までの工事ルートについては、材料や機材の運搬等を行う運転手に安全運転を周知徹底すること。
- ・各交差点及び横断部では、必ず一旦停止を行い、安全確認すること。
- ・周辺の道路規制については工事の際に現状をよく確認し、警察や高槻市等への申請手続きを、受注者において適切に実施すること。
- ・高槻城公園芸術文化劇場北館の開館時は、北館周辺での作業を極力控えること。作業を行う場合は劇場管理者と協議調整の上、施工すること。
- ・大手エリアにおいて関西電力の電柱移設を行うため、その期間中は移設工事近辺から敷地への搬出入ができないため注意すること。

(2) 作業日、時間

- ・地元との調整上、日曜日の現場作業は基本的に出来ない。また、現場作業の時間帯については、平日 8 時 00 分～17 時 00 分（予定）までとし、時間外作業等については、発注者と協議の上、地元調整・承諾を得てから行うこと。
- ・始業前のエンジンの稼働、エンジンの空吹き、工事用道路で砂埃を巻き上げる様な行為、大声を出しての作業等は、周辺住民の生活環境に影響を与えることから、絶対にしないように教育・指示等を徹底すること。
- ・時間外作業が必要な場合（重量物の資機材搬入等の特殊車両による深夜、早朝搬入等）については、近隣住民への事前連絡を徹底すること。
- ・隣接する神社や劇場等での催しの際は、原則作業は不可とする。
(例：十日戎祭り 1 月 9 日～11 日、二十歳の集い 1 月第 2 月曜日)
- ・高槻城公園芸術文化劇場北館においては、下記の期間に閉館を予定している。興行が行われる際は、搬入トラックが支障なく進入及び回転できるように配慮すること。
令和 8 年 7 月～11 月末 平日閉館（土日祝、9 月 25 日、10 月 29 日・30 日、11 月 1 日は開館）
令和 8 年 12 月～令和 9 年 3 月 終日閉館

(3) 工程

- ・本工事は関連工事と同じ工事区域で行われるため、作業可能範囲や材料置き場等が限られている。また関連工事が施工するにあたり、関連工事の契約後速やかに、工程調整を行うこと。
- ・大手エリアの火見櫓、カフェ、門、囲障及び雨水排水については令和 8 年 1 2 月中に検査済証を受領し、各種検査を受け市へ部分引き渡しを行うこと。

8 環境衛生

- (1) 受注者は、工事期間中の雨水・タイヤ洗浄等の排水先を確実に確保し、一般交通等への影響が発生しない様、排水処理を行うこと。
- (2) 現場周辺には用水路があるため、コンクリートの洗いや土砂等の流出については、流出防止対策を講じること。
- (3) アルカリを含む水や濁水を排水する際は、適切な水質を確保したうえで排水すること。なお、排水の放流先については、受注者において本市都市創造部下水河川企画課と協議を行い、事前に了解を得ること。
- (4) 施設撤去工として、コンクリート取壊し作業がある。人力施工やコンクリート圧砕機を活用するなど、周辺への騒音・振動に配慮して施工すること。特に、住宅付近のコンクリート取壊し作業については、人力施工またはコンクリート圧砕機で施工すること。
- (5) 住宅付近で作業する際は、必要最低限の大きさの重機等を選定し、作業方法を検討することにより、騒音と振動の発生に留意すること。

- (6) 住宅、高槻城公園芸術文化劇場北館周辺での作業については、特に騒音・振動の発生に留意して作業を行うこと。
- (7) 各エリアの仮囲いにそれぞれ1基の騒音振動計（デジタル表示）を設置すること。また、設置位置については地元と協議の上決定することとし、地元自治会等から要求されれば、測定データを提供すること。

9 工事現場における地元への工事説明

- (1) 受注者は、近隣自治会・住民等に対して、必要に応じて工事説明会を行うこと。また、工事名、工事内容、連絡先等を記した工事説明書を作成し、近隣自治会・住民等へ配布する等、丁寧に工事の説明を行うこと。特に隣接する住民に工事の影響がある場合は、着手前に必ず住民に対し施工調整を行うとともに、随時、工事説明書を配布すること。工事説明書の内容については、あらかじめ発注者の了解を得ること。
- (2) 受注者は、当該工事現場作業員に対して事業目的及び工事内容を周知させ、周辺環境への配慮に関する教育の徹底を図ること。
- (3) 受注者は、工事内容を分かりやすくまとめた工事工程表を毎週1回程度、地元自治会及び近隣住宅へ配布すること。また騒音や振動の発生が想定される工事を行う場合は、事前に地元自治会に説明を行うこと。
- (4) 受注者は、工事内容が分かりやすく記載された週間工程表を仮囲いに掲示し、毎週更新すること。なお掲示箇所については地元自治会と協議のうえ、決定すること。
- (5) 本工事区域周辺は、住宅地に囲まれているため、過年度より、工事の作業時間や資機材の搬出入については、地元自治会との協議のもと、ルールを定め、現在に至っている。ルールを遵守し、地元からの協力を得られるような施工管理に努めること。

10 用地境界

- (1) 受注者は、用地境界について、設計図書をよく確認し精査の上、必要に応じ工事着手前に隣接地所有者と立会確認の上、逃げ杭等を設けて記録すること。施工完了後は再確認のうえ、高槻市道路境界プレート及び境界杭の復元を行うこと。

11 安全対策

- (1) 安全対策については、工事の内容・規模に合わせて、バリケードや防護柵等を適正に配置すること。また、交通誘導警備員については、工事の内容・規模に合わせて、受注者の責において適正に配置すること。
- (2) 工事ルートや出入り口への交通誘導警備員の配置については、関連工事と調整を図ること。
- (3) 工事区域の外周については仮囲いを設置し、メッシュ部分にシートを追加するなど粉塵対策を行うこと。また、必要に応じて仮囲いを控える等により、通行者の安全対策を行うこと。

- (4) 周辺道路や高槻城公園芸術文化劇場北館等に影響のある作業を行う場合は、受注者において各施設管理者と協議のうえ、本工事において安全通路を確保すること。

1 2 関係者協議

- (1) 敷地周辺には電柱や通信柱が設置されており、送電線及び通信線等が架かっている。これらに支障のある作業を行う際は、各施設管理者と事前協議を行うこと。
- (2) 本工事区域内に埋設されている汚水本管や雨水貯留施設、外周道路に埋設されている水道管・ガス管・下水管・電線管等について、各施設管理者と事前に施工協議を行い、埋設位置を確認したうえで施工を行うこと。また、施設管理者から資料提出及び申請手続きが求められる場合は、受注者において資料作成及び申請手続きを行うこと。
- (3) 公園周辺の道路において、施工に関する警察許可が必要となるものについては、受注者において道路使用許可や大型車両通行許可等の申請手続きを行うこと。
- (4) 道路施行承認及び道路占用申請が必要となる場合は、受注者において資料を作成し、発注者に提出すること。
- (5) 高槻城公園芸術文化劇場北館付近において工事を行う場合は、受注者において各施設管理者に工事内容の事前説明を行うとともに、仮囲いの設置、安全通路の確保、粉塵防止、騒音振動対策等を行ったうえで施工すること。

1 3 現場環境改善及び地域連携

現場環境改善及び地域連携として、以下のもの（仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）を行うよう努力すること。（◎は必須）

□地域連携

- ◎完成予想図（PR 看板）の作成、掲示
- ◎週間工事工程が分かりやすくまとめられたものを各所に掲示する（デジタル工程表など）
- ◎工事の進捗状況がわかる外観写真を定期的に撮影し提供すること（月 1 回の定点写真等）
- ・本工事の特徴である木造等の施工状況が分かる工事見学会を開催
- ・その他

□仮設備関係

- ◎仮囲いのライトアップや透明アクリル板等の設置による、沿道の安全性の向上
- ・プランター等による沿道緑化
- など

1 4 環境への配慮

- (1) 受注者は、高槻市環境マネジメントシステム及び「公共工事における環境配慮計画書」の内

容を十分に理解し、これを遵守して施工を行うこと。

- (2) 受注者は、本工事の施工に際して、環境に配慮した公共建築工事を推進するため、本設計書に示すとおり環境負荷の少ない建設機械の使用、リサイクル材の活用、建設副産物のリサイクル等を徹底すること。

15 その他

- (1) 本工事は、国庫補助事業であるため、施工に当たっては、現場管理・品質管理・安全管理を十分配慮して行い、会計検査の対象になった場合には、監督職員の指示に基づいて資料の提出及び現場対策を行うものとする。

第2編 工事事項

1 構造・意匠等

- (1) 本工事は、在来の構造形式を有する建築工事であって、木工事、屋根工事、左官工事、金具・金物工事等に従事する主な技術者は、伝統工法を駆使する熟練者であることとし、実績報告を提出し、監督員が認めた者とする。
- (2) 左官工事従事者は、「全国文化財壁技術保存会」会員もしくは同等の技術を有する者とする。
- (3) 作業員の構成 各種技能者とその手元は各種別に構成し、不慣れのまま多人数で一気に作業することを避け、選任の作業員により丹念に施工すること。
- (4) 本工事は、高槻城公園整備として、各種施設（構造躯体、内外装、瓦、高欄、蓋、縁石、舗装、塀、フェンス、ベンチ、サイン等）の構造・意匠・デザインを工夫した設計となっている。そのため、使用材料や施工方法について、必ず発注者及び工事監理者に事前確認を行い、承諾を得た上で施工すること。
- (5) 意匠・デザインについては、必要に応じてサンプル材や試験施工を行うことにより、承認を得た上で、施工を行うこと。

2 材料

- (1) 石
 - ・使用材料や施工方法について、必ず発注者、工事監理者及び文化財課に事前確認を行い、承諾を得た上で施工すること。
 - ・本工事で使用する本石縁石及び本石舗装の産地については図面に記載のとおりであるが、石の仕様（色、質感、表面など）や施工方法について、必ず発注者、工事監理者及び文化財課にサンプルを用いた事前確認を行い、承諾を得た上で施工すること。
- (2) 瓦
 - ・本工事は高槻城のイメージ形成を目的とした整備であることから、設計図書及び既往の文化財調査を参考として、屋根に使用する瓦の形状や模様、色、質感等を選定すること。なお、使用材料や施工方法については、必ず発注者、工事監理者及び文化財課に事前確認を行い、承諾を得た上で施工すること。
- (3) 木材
 - ・使用材料（形状、模様、色、質感等）や施工方法については、必ず発注者及び工事監理者に事前確認を行い、承諾を得た上で施工すること。
- (4) その他
 - ・本工事で使用する材料については、工場製作時等に品質検査を行うこと。また、石の産地・形状・色等、瓦の形状・色等、柵やフェンスの塗装厚等については、必要に応じて材料製作時に

工場検査を行うこととする。

3 撤去工

- (1) 構造物取壊しの際は、騒音対策としてコンクリート圧砕機又は騒音を抑制できる機械を用いて作業すること。アイオンは原則使用不可とする。
- (2) 取壊したガラ等については、建設副産物として関係法令に則り、マニフェストを発行し、適正に処分すること。
- (3) 建設副産物の処分先について、施工計画書に記載し、処分前には処分場（現地）の許可票の確認を行うこと。また、各処分ごとに追跡調査を実施し、報告すること。
- (4) 本工事エリアにおける、掘削及び樹木伐根工については慎重に施工を行うこと。
- (5) 住宅周辺における樹木の伐採抜根工事については、騒音振動の発生に留意して施工すること。

4 雨水排水設備工

- (1) 配管ルートについては設計図によるが、他の構造物と干渉する場合は、発注者及び工事監理者と調整の上、承諾を得ること。
- (2) 側溝、枳等との取り合いについては、施工図を作成し、発注者及び工事監理者に提出すること。
- (3) 雨水が滞水することのないように、確実に勾配を確保すること。
- (4) 受注者は雨水排水設備の施工前に排水設備等計画確認申請を行い、施工後に完了検査を受けること（高槻市排水設備等指定工事店が申請する必要あり）。なお、工事に関わる諸手続き及び申請については、受注者にて行うこと。
- (5) 現道における掘削及び管接続工事を行う場合は、受注者において埋設管の管理者と協議を行い、必要に応じて管理者との立会いや埋設管の防護を行うこと。
- (6) 下水本管とます取り付け管との接合部には取付管用支管を使用し、施工後に漏水が生じないように接着部にゴミ、砂粒等が付着していないことを確認し、均一に接着剤を塗布すること。また番線で緊結すること。

5 構内舗装工

- (1) 路床及び路盤の品質管理を実施すること。
- (2) 平板ブロック、タイル等については、遺構との意匠性を考慮しているため、材料カタログ以外に必ず見本品を提示し、発注者及び工事監理者の承諾を得ること。
- (3) 舗装の水勾配については、滞水することがないように確実に勾配を確保し施工すること。
- (4) 本工事の舗装に関し、「現場密度の測定」、「温度測定」等を行うこと。
- (5) 点字ブロック・点字シートの配置については都市公園の移動円滑化ガイドライン、大阪府福祉のまちづくり条例等の仕様書を確認し、設計図書と現地を照査すること。

- (6) 施設を設置する向き等は図面によるが、施工前に現地に位置出しを行い、発注者及び工事監理者の確認を行ってから施工すること。
- (7) 高欄や格子柵、木戸等の意匠・デザイン、木材の形状・色・質感等については、サンプル材等を用いて発注者及び工事監理者の承諾を得たうえで、製作・施工を行うこと。

6 サイン

- (1) 総合案内サイン、ピクトサイン等の種類及びデザインについては、公園全体が統一したものとなるよう検討すること。なお、受注者は文字や表示内容等がわかる案を作成し、発注者の承諾を得てから製作すること。
- (2) 各施設の意匠・デザインについては発注者及び工事監理者の承諾を得たうえで、製作・施工を行うこと。

7 囲障

- (1) 境界部に設置する柵等の施設については、越境がないように境界座標をよく確認して施工すること。
- (2) 意匠・デザインについては発注者の承諾を得たうえで、製作・施工を行うこと。

8 植栽工事

- (1) 樹木、芝生の植樹等が適正な時期に施工できるように工程を計画し、管理すること。
- (2) 植栽の配置計画については図面の通りとする。なお、低木地被類の配植は、発注者と協議し、各樹木の形状、形姿等を踏まえ周囲の状況を考慮して見栄えの良い配植となるよう植栽計画図を作成し、監督職員の承諾を得たうえで、施工すること。
- (3) 枯補償
- ・新植する高木、中低木、地被類が工事完成引渡し後2年以内に植栽した時の状態で枯死または形姿不良となった場合は、当初植栽した樹木と同等またはそれ以上の規格のものに植替えなければならない。なお植替えの時期については監督職員と協議すること。
 - ・干害、塩害、風水害等に起因するものであっても、立ち枯れの状態のものについては、前述を適用する。
 - ・樹木等の枯死または形姿不良の判定は、受発注者が立会いの上、行うものとする。
- (4) 植栽に先立ち、水分の逸散を抑制するため、適度に枝葉を切詰め、または枝透かしをするとともに、根部は割れ、傷の部分を切り除き、活着を助ける処置を施すこと。
- (5) 樹木については、設計図書の規格に適合したものまたは、これと同等以上の品質を有するものとし、発注者の確認を受けてから材料手配すること。
- (6) 工事車両及び重機は、芝生部分を通行しないこと。やむを得ず通行する際は、保護板等で養生した上で通行すること。

- (7) 事前に地下埋設物の位置を確認したうえで配植し、掘削時には地下埋設物に十分注意して施工すること。地下埋設物を破壊または損傷させた場合は、受注者の責任において早急に復旧すること。
- (8) 丸太支柱材については、設計図書に示す防腐処理及び寸法とし、切り口を面取りする等、公園利用者の安全に配慮した形状とすること。また、支柱の設置の向きについては、発注者と協議の上、決定するものとする。
- (9) 土壌改良材の攪拌を確実に行うこと。また、マルチングは、均一性に留意し施工すること。
- (10) 工事期間中の樹木及び地被類の維持管理（水遣り、施肥、芝刈り、草刈り、剪定）については、受注者において、工事完了まで責任をもって管理すること。

9 仮設工

- (1) 仮設資材は受注者の責において管理・補修等を行うこと。
- (2) 本工事の周辺には家屋や建物が多く点在することから、粉塵には特に留意し、必要に応じて防護や散水などの対策を行うこと。
- (3) 重機等の搬入は道路及び道路構造物等に破損のないように養生を行うこと。
- (4) 工事車両の洗浄箇所には養生用鉄板を敷き、洗浄水を有効に回収できるように側溝等を設置することで、最寄りの下水会所に接続すること。
- (5) 工事関係車両の通行によって道路を汚損することがないように、関連工事と調整を図りながら、対策を徹底すること。
- (6) 工事区域内における工事車両が通行する通路については、近隣への影響、工事規模、通過する車両、地盤、工程等を考慮して、養生鉄板又は砂利敷など、適切な維持管理を行うこと。
- (7) 工事車両が出入りする箇所には交通誘導警備員を配置すること。その他の配置については、関連工事と調整を図りながら適正に配置すること。また、本工事が単独で施工する区域については、工事内容・規模に合わせて、適正に配置すること。
- (8) 関連する工事が輻輳しているため、必要に応じてバリケード等で工事区域を明確にするなど、適切な安全対策を施すこと。
- (9) 道路規制に伴い設置する標識類、防護柵等の安全施設類については、現場条件に応じて配置するほか、道路管理者（本市道路課）及び交通管理者（所轄警察署）と打合せを行い実施するものとする。また、発注者から指示があった場合は速やかに対応すること。
- (10) 仮設照明を設置する場合の照明の電源は、受注者において申請から引込み、支払いまでを行うこと。

10 後片付け

- (1) 本工事に伴い損傷を生じた既存の施設、工作物、樹木等は現状に復旧すること。
- (2) 工事目的物の施設等を工事用で使用した場合は、設計図書等の定める条件の通りに復旧する

こと。

1 1 完成

- (1) 令和9年3月27日に本工事区域を含む北エリア（一期）の開園を予定しているため、調整を図ること。
- (2) 工事の完成にあたって、受注者の自主検査を行うこと。検査の結果、関係法令又は設計図書に適合しない箇所がある場合は、速やかに手直しを行ったうえで、発注者に報告する。